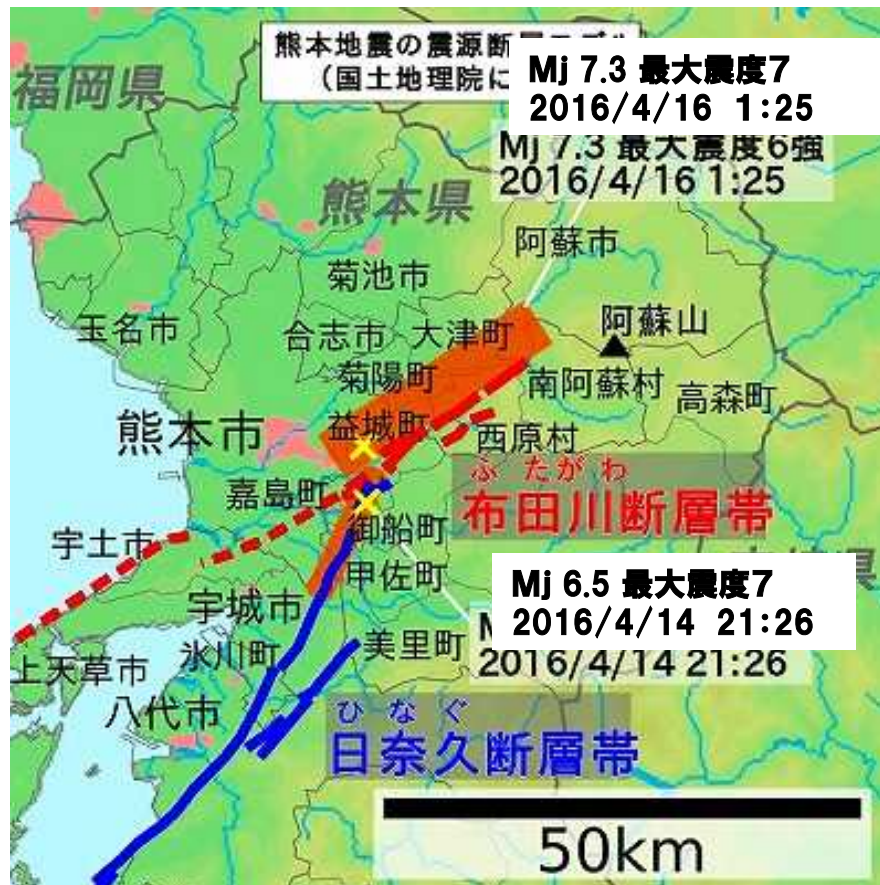


# 熊本地震・鳥取県中部地震への関西広域連合の対応

## 熊本地震への対応①

### ■被害の概要

平成28年4月14日と16日に、熊本県を中心に最大震度7の地震が発生し、死者193名、住家全壊約8.4千棟、半壊約3万棟など、大きな被害が発生した。



# 熊本地震への対応②

## ■初動体制

### ○緊急派遣地チームの派遣

- ・4月14日(木)21時26分頃に地震6強(後に震度7に修正)の地震が観測されたことから、23時に緊急派遣チーム(3名)を派遣
- ・夜間で他府県との調整も困難であったことから、兵庫県職員を公用車で派遣

### ○現地支援本部の設置

- ・4月16日(土)6時に、熊本県庁内に設置

### ○熊本地震災害支援会議の開催

- ・4月16日(土)14時に、構成府県市の防災監、危機管理監らが兵庫県災害対策センターに参集
- ・人的支援、物的支援、支援体制等を協議



[出発の様子]



[現地支援本部]



[熊本地震災害支援会議]

# 熊本地震への対応③

## ■ 支援体制

連合長を本部長とする災害対策支援本部を設置。熊本県庁に現地支援本部、益城町、大津町、菊陽町に現地連絡所を設置し、被災地支援を実施

平成28年熊本地震災害対策支援本部

現地支援本部(熊本県庁内) 担当: 京都府、兵庫県、奈良県

益城町現地連絡所 担当: 滋賀県、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県、徳島県、鳥取県

大津町現地連絡所 担当: 大阪府

菊陽町現地連絡所 担当: 奈良県

※京都市、大阪市、堺市、神戸市は指定都市市長会の調整で熊本市を支援

## ■ 対応状況

- 4月14日(木) 21:26頃 前震発生
  - 21:40 災害支援準備室設置(室長: 防災計画参事)
  - 23:00 先遣隊3名出発(隊長: 広域企画課長)
- 4月16日(土) 1:25頃 本震発生
  - 2:00 災害支援室及び応援・受援調整室設置(室長: 広域防災局長)
  - 6:00 現地支援本部設置
  - 14:00 「熊本地震災害支援会議」開催(構成団体防災監、危機管理監等出席)
- 4月20日(水) 「平成28年熊本地震災害対策支援本部設置」  
益城町・大津町現地連絡所設置
- 4月21日(木) 菊陽町現地連絡所設置

# 熊本地震への対応④

## ■ 物的支援

アルファ化米(約33万食)、毛布(約9万枚)、簡易トイレ(約3千基)など



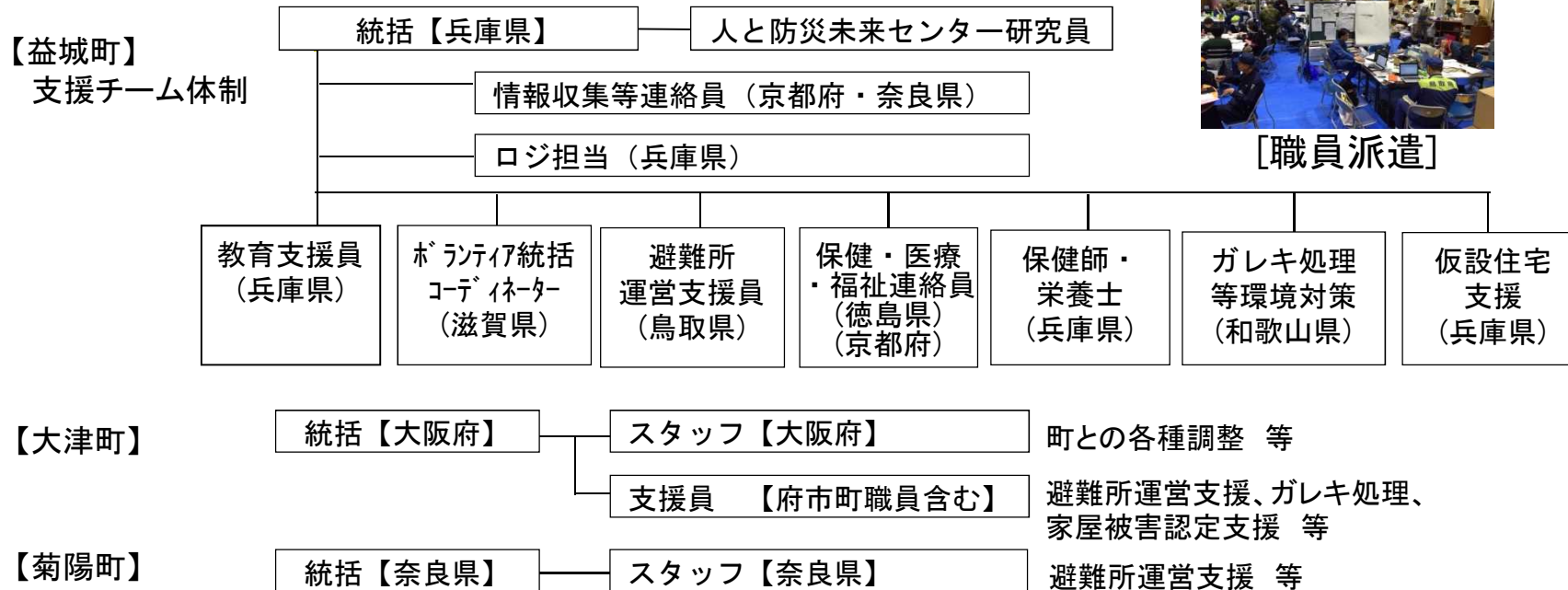
[支援物資搬送]

## ■ 短期職員派遣

- ◇ 業務内容: チーム支援、避難所運営支援、家屋被害認定支援等
- ◇ 累計: 7,423人・日 (平成28年7月21日時点)



[職員派遣]



## ■ 中長期職員派遣

公共土木施設等復旧支援等にかかる構成府県市からの職員派遣  
 熊本県内: 20人 (平成29年4月1日時点)

# 鳥取県中部地震への対応

## ■被害の概要

10月21日に発生した震度6弱の地震により、鳥取県中部地域を中心に大きな被害が生じた。

区分	人的被害(人)			建物(住家)被害(棟)			時点
	死者	重傷	軽傷	全壊	半壊	一部破損	
鳥取県	—	8	17	18	290	14,959	3/21 17:00

## ■支援状況

### ◆ 対応体制

発災と同時に広域防災局長を室長とする災害対策準備室を設置し、被害情報の収集、支援の調整を実施し、先遣隊3名を発災から1時間後に派遣。

### ◆ 支援の内容

#### (1) 人的支援

家屋被害認定関係職員等の派遣 累計:475人・日 実人数115人(市町職員含)

#### (2) 物的支援 ブルーシート2,000枚

### ◆ その他関係機関の支援

徳島県(個別の相互応援協定に基づき支援)

#### (1) 人的支援

被災建築物応急危険度判定士、家屋被害認定要員等の派遣 142人(市町職員含)

#### (2) 物的支援

ブルーシート600枚、土のう袋5,000枚など

#### (3) その他支援

災害見舞金の贈呈